

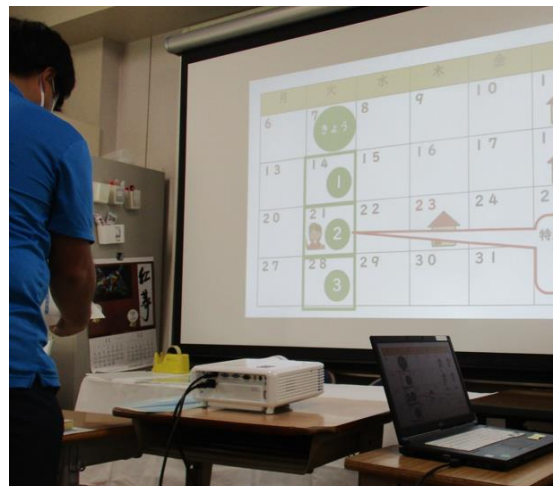
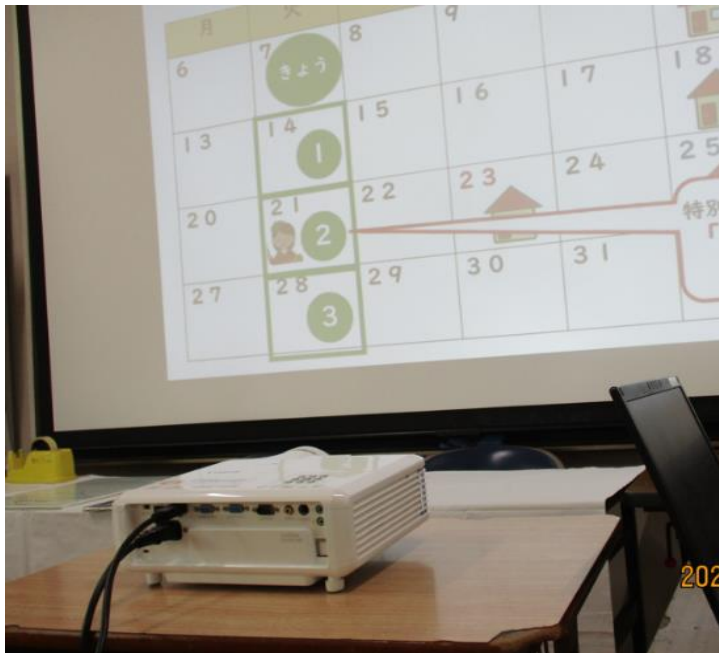
令和4年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書 【1年目】

P T A名	静岡県立沼津特別支援学校 P T A
学 校 名	静岡県立沼津特別支援学校 <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
全校児童・生徒数	215人

1. 使用状況

寄贈物品名	短焦点プロジェクター
使用学年及び人数	全校生徒(215人)
使用頻度	ほぼ毎日
使用状況	各学年(12学年)に配布し、授業で使用している。 それぞれの学年で、教師用パソコンや児童生徒の学習端末を接続し投影している。また行事や儀式などでも使用し、教室内だけでなく体育館や会議室などでも使用している。
物品の使用による 変化や効果	寄贈により各クラスに配置する台数が増えたことで、本校全体での使用頻度が高まった。日々の学習では、小さなものを大きく映したり、映像教材を使うことで生徒の理解をより深めることができた。 スライド教材と併用して写真や動画を活用することで、より生徒が興味を持って見る姿や、生徒自身が撮影した写真や、作成したスライドをみんなの前で発表したりする場面を増やすことができた。 また短焦点プロジェクタであるため、教室内で投影する距離を短くすることができ、配線の取り回しや機器の配置などが簡易であることも効果のひとつである。
今後の活用の 見通しや課題	ICT機器の活用を高めるために、各学年に1台ずつ配置という当初の目標は達成された。各学年に配置されたことで、教師が日々の授業で活用しやすい環境を作ることができた。 今後は、より効果的な活用の仕方の中で、教師だけでなく児童生徒も主体的に機器を扱えるようにしていきたい。
その他 希望や所感など	希望した台数を寄贈していただきありがとうございました。この度の寄贈により各学年に配置できたことで環境が整ったため、今後は校内での活用方法を共有していきたいと思っております。

2. 活用の様子



投影距離が短いため、設置に場所を取りません。
そのため操作もしやすく、児童生徒の視線も妨げ
ません。紙や板書での提示と違い、スライドによっては
アニメーションを使えるため、生徒もより注目し授業に
取り組むことができます。

